

環境建設工学科OB/OGの声

～活躍する先輩たち～



緒方 奨（おがた しょう）さん

2015年3月学部卒業（社会デザインコース）

2017年3月修士修了

進学先：京都大学大学院

工学研究科都市社会工学専攻

先輩に聞きました！

今の進路を選んだ理由

私は、小さい頃から一つのことに時間を忘れて没頭するタイプであり、以前から、専門分野に生涯をかけて没頭し、真理を追及していく研究職に魅力を感じていました。岩盤工学研究室に配属された後、日々研究を続けた結果、自ら構築したモデルによってこれまで分からなかった地下の現象を予測することに成功しました。このとき、これまで味わったことのない何にも代えがたい喜びとともに研究の楽しさを実感し、将来、研究職につ

きたいという気持ちが確固たるものとなりました。そんな中、修士一回生の時に指導教員の安原先生に京都大学の博士後期課程に進学しないかというお誘いをいただき、博士後期課程進学を決めました。

在学中の思い出について

所属していた研究室（岩盤工学研究室）で、共に修士課程に進学した同期と一緒に、脱衣大富豪等、三年間ほぼ毎日ふざけあっていました。研究で悩んでいる時も、いつも笑わせてくれる研究室の同期がいたから、三年間気持ちがきれることなく研究に取り組めました。

また、修士一回生時に行ったインドネシアのカジャマダ大学への夏季短期留学では、初めて他国の文化や学問に触れ、忘れることの出来ない刺激的な経験となりました。

やりがいを感じているところ

現在は、京都大学の博士後期課程一回生として、ほとんど毎日研究漬けの日々を送っています。博士後期課程は、修士課程までと違って、研究計画の立案から遂行までの多くの部分を、ほとんど独力でマネジメントしなければいけません。ゆえに、研究成果が全く出ず、思い悩むこともあります。世界で自分だけのオリジナルな研究を自分の好きな様に出来るということは大きなやりがいであるとともに喜びでもあります。また、修士過程の時よりも、国内及び海外で学会発表を行う機会が多く、今年は海外二件、国内五件の発表を行いました。

これからの展望

三年で京都大学の学位を取得した後は、大学教員になりたいと考えています。大学教員として生涯研究を続けていき、専門分野である岩盤工学において世界トップの研究者を目指したいと考えています。

後輩への熱いメッセージをどうぞ！

愛媛大学環境建設工学科では、留学生を除き、博士後期課程進学という進路は極めて稀なのが現状であり、最初から博士過程進学という進路を考えていない人が多いと思います。しかし、みなさんが、もし大学での研究生生活を通じて、純粋に研究が好き・楽しいと感じているならば、自分の好きなことに好きなだけ没頭できる博士後期課程進学という進路は非常に魅力的であると思います。

プロフィール

氏名（ふりがな）：緒方 奨（おがた しょう）さん

出身県・高校：熊本県・学園大学付属高校

卒業年：2015年3月学部卒業

修了年：2017年3月修士修了

進学先：京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻